

4 天神橋

この場所は昔、川が南北に流れており、中央道路が整備される昭和26年頃まで石橋が架けられていた。現在では橋の一部が残るのみ。



昔は、旧高田川を境に本郷町周辺と呼ばれていました。



↑旧天神橋 (昭和6年頃、提供: 大和高田市)

林さんとはここで別れ、ありがとうございました!

5 昆布寅西井

明治27年頃創業の老舗昆布専門店。天然昆布の素材を生かした製品作りを信念に120年以上変わらぬ味を守り続けている。

お客さんとのコミュニケーションを大事にしています。その結果店の者との思い出を懐かしんで買いに来てくださる方もいます!

店主・西井孝治さん (57)

☎0745-52-2316
住 大和高田市本町5-11
時 9:30~18:00
休 不定休

上とろろ昆布 660円
残金 850円

4世代続く看板商品。そのまま食べてもよし、ご飯にかけて食べてもおいしい逸品。

3 馬冷池公園



↑現在の馬冷池とさざんかホール



↑馬冷池公園での催事の様子 (昭和53年、提供: 大和高田市)

戦国時代、戦のときに馬の体を洗ったり、体温を冷やしたりしたことから名付けられた古池。さざんかホール建設に伴い、大幅に埋め立てられ、現在ではかつての3割ほどの大きさになっている。

馬冷池といえば当時この周辺の催事場のようなところで、子どもの遊び場でした。猿山があったり、駄菓子屋があったり、にぎやかな場所でしたよ!



↑写真上: 右奥に見えるのが猿山 (昭和34年、提供: 大和高田市)
写真下: 現在の猿山のあった付近

馬冷池の浮御堂

元々浮御堂の「鐘楼」は大日本紡績の工場で亡くなった方への鎮魂の鐘。ユニチカ閉鎖と共に馬冷池公園へ移された。平成6年、六反田池 (日出東本町) に移転。



↑移転前の浮御堂 (昭和53年、提供: 大和高田市)

7 弁慶の七つ石

大中春日神社の境内にある。源義経が兄の頼朝に追われた際に、この神社の境内の石に腰掛けて一休みしたと伝わる。



写真は4月上旬の高田川

8 高田川

高田のまちを蛇行し、たびたび氾濫していた旧高田川に代わり、1932年から11年かけて現在位置に付け替えられた。1948年には堤防に桜が植樹され、「高田千本桜」の名で現在も親しまれている。

9 エンジェ patisserie Kawamoto

創業40年以上、地元で愛され続ける洋菓子店。パティシエの河本満夫さんは、ジャパニーズケーキで全国優勝した腕前の持ち主。

☎0745-52-4227
住 大和高田市本郷町2-9
時 10:00~19:00
休 水曜

パティシエの河本満夫さん (49)



チーズケーキ 313円
残金 217円

6月は桃を一個使ったケーキも登場!

桃のケーキ659円

帰り道に天神さんへ7円をお参銭

GOAL 大和八木駅 運賃210円 残金0円 大和高田駅

旅を終えて

かつてのにぎわいはありませんでしたが、「奈良の心齋橋」と謳われた頃を彷彿とさせる、人間味あふれるまちでした。昔の思い出話をしてくださった方々のきらきらした表情は、まるで子どもの頃に戻ったかのようでした。

今月の旅のテーマ

ここは“奈良の心齋橋” 商都・大和高田 思い出の旅

今月の旅人はにわ

2020円の旅

Travel of 2020.6

2,020円の旅ルール
その1: 所持金は2,020円 (交通費込み)
その2: 出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その3: 車での移動は× (ただし公共交通機関は○)



商都・大和高田のまちには、かつて“奈良の心齋橋”と謳われた商店街がある。時代とともに姿かたちを変えてきたが、現在にもかつての名残が。当時を暮らした人々の思い出とともに商店街を歩いてみよう。



↑ユニチカ高田工場 (昭和52年、提供: 大和高田市)

現在のJR高田駅の東には大日本紡績株式会社 (現・ユニチカ) の大規模工場があった。昭和52年の工場閉鎖まで全国各地から労働者が集まり、商店街は大変にぎわったという。



↑天神橋筋商店街 (昭和42年、提供: 大和高田市)

START 近鉄大和八木駅

近鉄大和八木駅

運賃 210円
残金 1,810円

近鉄大和八木駅

大和高田駅

今回は佛願寺の林康樹さん(51)に当時の案内人としてご協力をいただきました



2 佛願寺

正徳5年(1715)に成立した浄土真宗本願寺派の寺院。年に2回、上方講談の旭堂南左衛門一門による「佛願寺講談会」が開催される。

☎0745-22-2366
住 大和高田市本郷8-6

御朱印 300円
残金 1,510円

昔は手で、強面の係員が通過するたびに警笛を吹きレバーをぐるぐる回していたそう。

子どもの頃は「ゴリラ」と呼んでいました(笑)。とても怖い人だったのを覚えています

このあたりに小さな待機小屋とレバーがあった。



Yomi! 編集者が旅人になってテーマに沿った小旅行を提案します。もつと気軽に手軽に、を考えた「ふらりどこかへ行きたくなる」あの気持ちを2020円以内に収めました。封筒の中には旅のルールと2020円だけ。あなたはどよう使う?